

高森町

たかもりまち

[熊本県]



高森町に発着駅がある南阿蘇鉄道高森線は、令和5年夏に全線再開を予定。「野の花と風薫る郷」をうたい、「観光立町」を目指す高森町は、観光の拠点とするため関係団体や住民とともに高森駅周辺の整備を進めています。

「野の花と風薫る郷」で進む
創造的復興を目指すまち



標高1,408m、のこぎり状の稜線を有する町のシンボル根子岳を眺めて走る南阿蘇鉄道(上)。月廻り公園の広大な敷地には芝生広場やゴーカート場がある。温泉館、食事処も併設(下)。

熊

本県の東端にあり、東西18km、南北25kmと世界有数を誇る阿蘇カルデラ。その中央にある阿蘇五岳から南東の外輪山に至る一帯を町域とするのが高森町です。阿蘇山や広大な草原など雄大な景観に恵まれた高森町は、阿蘇くじゅう国立公園に属し、休暇村南阿蘇や鍋の平キャンプ場などの自然に親しめる観光施設があり、町中には酒の蔵元や醤油の醸造元などが並びます。高森は神話の舞台でもあり、神

Takamori Town DATA

人口：6,147人
(令和3年10月末現在)
面積：175.06km²
町木：ヤマザクラ
町花：ヒメユリ
町役場所在地：熊本県阿蘇郡高森町
大字高森 2168 番地



郷土料理 高森田楽

地元特産のつるの子芋を用いる伝統料理。ヤマメや沢ガニ、こんにやくなどが加えられて定着した。味噌を塗り、囲炉裏で焼く。



パワースポット 上色見熊野座神社

国産みの神、伊弉那岐命、伊弉那美命、岩君大將軍をまつ。参道には奉納された約100基の石灯籠が並ぶ。



夏祭り 風鎮祭

別名山引。日用雑貨などを用いて動物などをかたどった造り物が町へ繰り出し、伝統芸能の「にわか」を青年たちが披露。



例年2月から3月にかけて行われる「新酒とふるさとの味まつり」。造り酒屋の蔵出し寒作り新酒や郷土芸能のイベントを楽しめる。



鉄道トンネルの掘削が大量の出水で中止となり、その跡地に造られた高森湧水トンネル公園。トンネルは全長550m。湧水量は毎分32t。



九州自然歩道沿いにある高森殿の大杉。幹回りが10mを超える2本の杉で、寄り添って立つ姿から「夫婦杉」とも呼ばれる。



昭和19年に和牛として登録されたあか牛。草原(牧野)で育つ。赤身はほどよい脂肪分を含み、うま味と柔らかさを兼ね備える。

武天皇の子息の日子八井命はこの地の人々を苦しめる大蛇を退治し、神武天皇の命を受けた健甕龍命は妻の阿蘇都姫と共に阿蘇を開き、農業を広めたと伝わります。観光と並ぶ町の産業が農業です。豊かな農耕文化が育まれた高森は世界農業遺産に認定されており、稲作や花きなどのほか、8月の平均気温が25℃ほどの高原の気候を生かし、大根やキャベツなどの高冷地野菜が生産されています。

「将来の子ども達に誇れる高森町」へ



高森町長 草村大成

熊本地震からの創造的復興を進める一方で、町内に整備した光通信網を活用し、「町の情報化」「教育の情報化」に取り組みんでいます。都市部と変わりない情報通信環境は、(株)コアミックス第二本社設立にもつながりました。新しい産業の創出による地方創生など、「将来の子ども達に誇れる高森町」に向けて取り組んでいます。

演劇や鉄道でも活躍 地域おこし協力隊

096k 熊本歌劇団の舞台『前田慶次 かぶき旅～肥後の虎・加藤清正～編』。熊本市の「桜の馬場城彩苑 熊本城ミュージアムわくわく座」で金・土曜日に公演。



「阿蘇の奥座敷」と呼ばれる高森の魅力を掘り起こし、観光資源として提案して地域おこしにつなげていきたいです



「草原の野草を堆肥とするなどバランスの取れた自然と人の営みに感動して移住を決めた」と言う高森観光推進機構の井上さん。

高森観光推進機構のツアーで戦国時代に領民が隠れたと伝わる巨大洞穴「千人がくれ」の案内役を務める高森秀平さん。高森城主の末裔でもあるそう。

自 治体が移住希望者を任期付き公務員として雇用し、地域協力活動を行ってもらうのが地域おこし協力隊（移住公務員）の制度です。

高森町では40名もの隊員が様々な活動に従事しており、例えば南阿蘇鉄道では運転士を含め4人が活動中です。

株式会社コアミックスが主催する女性歌劇団「096k(オクログク)熊本歌劇団」からは、27名の団員が、地域おこし協力隊の隊員となつて移住し、高森町の拠点で稽古に励んでいます。

任期を終えてから地域のために活躍する人たちもいます。高森町は、観光施策を推進するために一般社団法人高森観光推進機構との共同事務所を駅前に開設しましたが、同機構の事務局長・井上真希さんも元隊員で、現在「戦国時代の高森」をテーマにしたガイドツアーなどに取り組んでいます。



南阿蘇鉄道運転士・地域おこし協力隊 穴戸優介さん

鹿児島出身の穴戸さんは「震災復興の力になりたい」と3年前に地域おこし協力隊員となり、資格を取得して運転士に。「記念グッズの製作など全線復旧にかかる事業にも携わっています」



096k 熊本歌劇団員・地域おこし協力隊 野村由貴さん

歌劇団員として舞台上に立ち、町のケーブルテレビ「たかもりポイントチャンネル」の「ぶらりたかもり」のレポーターとしても活動。「エンターテインメントなどを通して町を盛り上げたいです」

生き生きしてる！

高森町で活躍するみなさん



旧高森温泉館を改装・改築したアーティスト育成施設「アーティストビレッジ阿蘇 096 区」で歌劇団員のレッスンが行われる。



全線復旧の先へ 南阿蘇鉄道復興と「熊本都市圏アクセス30分台構想」

風 を感じながら阿蘇の眺望を満喫できるトロッコ列車が、人気の南阿蘇鉄道ですが、熊本地震による被害を受け、現在、立野駅から中松駅の区間が運転見合

わせ中です。高森町は「熊本地震からの創造的復興」を掲げ、ポストコロナを見す

えた高森駅を観光拠点とした駅周辺の再開発を進めています。

さらに草村町長は全線復旧と同時にJR肥後大津駅―高森駅の直通乗り入れを実現することにより、65分かかる南阿蘇地域から熊本都市圏のアクセスを30分台に短縮して、観光客の増加、移住・定住の促進などを図る構想を打ち出しました。

町はこれらの事業を進めるため、企業版ふるさと納税による寄附を募っています

心豊かな子どもを育む たかもり新風まるプラン

「たかもり新風まるプラン」は、幼児期の教育・保育や地域子ども・子育て支援事業の計画的確保、子どもの健やかな成長と子育てを社会全体で支援する環境整備を目的とするもので、令和2年度からの5年間を計画期間とします。基本理念は「家庭と地域でともに支え合い 心豊かな子どもを育むまちづくり」。

事業の拠点となるのが高森町子育て世代包括支援センターです。ここには妊娠期から子育て期のさまざまな悩み・相談質問に答える相談窓口があり、保健師や管理栄養士が話を聴き、必要に応じて関係諸機関と協力してサポートします。

子育て世代包括支援センターではベビーマッサージなどの講座や子育てをする保護者が集まり話し合う子育て座談会を開催。



沿線自治体が出資する第三セクター方式の南阿蘇鉄道。新しい高森駅は県の「くまもとアートポリス」事業の一環として設計される。



人気漫画『ONE PIECE』に登場するフランキーの像。復興プロジェクトとして作者で熊本県出身の尾田栄一郎さんたちの協力を得て沿線で像の設置が進められた。

誰もが地域づくりに参加 みんなで創る共生社会

阿蘇では昔から「結い」「かちやり」「隣組」と呼ばれる助け合いの地域組織がありました。これを福祉の分野に生かそうというのが阿蘇管内の7市町村社会福祉協議会が中心となって平成9年にスタートした阿蘇やまびこネットワークです。高森町はこのネットワークの中で支援力と受援力を高める地域づくりを進めています。

令和2年に策定した「第3期高森町地域福祉プラン」は、地域で暮らす誰もが自分の暮らす地域について関心を持つこと、地域づくりに参加し、みんなで共生社会を創っていくことが重要である、という考えから、基本理念を「高森町 みんなで創る共生社会」としました。